

20代、30代読者の悩み1位は、やっぱり仕事！

# 20代で一つの仕事に打ち込んだ “キャリア”が30代の 専門性につながっていく

「仕事で専門性を身につけたい！」という願う読者は多い。  
でも、その「専門性」っていったい何？  
専門性を深めるヒントは、日々の業務にあった！

読者の悩みのトップは、20代も30代も仕事。「専門性を身につけたい」、「好きなことを仕事にしたい」などの意見がずらりと並んだ。では、ハッピーな40代を迎えるために、しておくべきことはなんだろうか？

## 20代のうちに、 自発的に仕事を

まず、私たちの考える専門性に誤解があるようだ。「長く働くには専門性がない」と、転職や資格取得を目指す読者も多い。しかし、リクルートワークス研究所の豊田義博さんはたとえルーティンワークであっても、すべての仕事に専門性を高める要素はあるし、事務職だって、仕事のやり方を追究すれば、プロになれる。まずは目の前の仕事で工夫して」と言う。

松永真理さん(32)も、「今自分が立っている場所を深掘りするだけで、宝の山はたくさんある。自分の方向性が見えないときこそ、今の仕事を掘り下げて、まずは自分の中にストックを作ることを考えて」と言う。「日々の仕事に向き合うこと」。

## “20” 代で しておくべき こと

### 25歳までに…

- ✓ 目の前の仕事に、とにかく創意工夫しながら必死に打ち込む経験をつんでおく(3~5年)
- 「好きなこと」ではなく、「できること」を考えてみる
- 受け身ではなく、自発的に仕事に取り組む
- 仕事における“不条理体験”を積んでおく

### 30歳までに…

- 興味の持てない仕事でも、「自分なりの仕事のテーマ」を持って取り組んでみる
- 長期的ではなく、短期的な目標を考えておく
- ひとりだけで考えず、5人は相談できる人を持つ
- 社内・社外に複数のロールモデルを探しておく



3つの輪が重なる仕事に出合えればハッピー。究極の理想だが、試行錯誤の末に見つかるもの

## 20代で 考えたいこと

仕事に対して20代は「wantを見つける」ことに必死になりがち。しかし「無理やりwantを探そうとして苦しんでいる人も多いのでは」と豊田さん。逆に私たちが見落としがちなのは、can。「仕事で、なにが一つは命できることがあるはず。それに必死に取り組むことから、wantやneedが見えてくることもあります」

### 私たちの2大誤解！

#### 20代のルーティンワークでは専門性が身につかない！

事務職、ルーティンワークでは専門性が身につかないという読者の意見を専門家はそろって否定。「専門性がない」とルーティンワークを否定しない。むしろキャリアの一貫性のほうが重要で転職の面接でもそこがポイントに。事務の仕事も3~5年やれば、かなり周囲から頼られる存在に。これも立派な専門性です」(リクルートエイブリック鶴巻百合子さん)。

#### 20代読者が 「仕事の専門性を付けたい」 「資格を取りたい」理由は？

- 今年で転職2年目なので、30歳までに今の仕事のある程度のレベルまで上げておきたいから。そうすればもう少し自信のある自分になれるような気がするから(28歳・流通・営業)
- 資格を取得していれば出産後の仕事復帰に有利だと思うから(28歳・銀行・コールセンター)
- 30代、40代…と年齢を重ねるう

ちに仕事に専門性がないと、職に就けなくなるように思う。出産しても働くためには何か得意分野がないと難しいと感じるようになったから(28歳・情報・システム構築)- 自分に自信をつけるため。資格取得・仕事で専門性を身に付けられれば、仕事の視野が広がると思うから(27歳・保険・経理)
- 30歳までに基礎を作って、30代からはそれをベースに発展していきたいと考えていたから(27歳・製造・秘書)

#### この人たちに 聞きました

リクルートワークス  
研究所 主任研究員  
豊田義博さん

「就職ジャーナル」編集長などを歴任。現在は組織・人材マネジメントの未来形、雇用構造の変化、若年層のキャリアデザインなどを研究している

キャリア・  
コンサルタント  
赤木美香さん

リーダーシップ研修などを手がけるクラーク・フューチャー・コンサルタンツ代表。若者、女性を中心にキャリアカウンセリングも行う。近著に「3Vの成功法則」(小学館)がある

日本産業カウンセリング  
センター理事長  
野原啓子さん

22 参照



## Work

20代→30代 転職で  
求められるスキルはこう変わる

## 年齢からみる 転職市場

**27歳** スキル。だけでなく「ポテンシャル」で勝負できる最後の年齢。異職種・異業種への挑戦は、この年齢までにするのがベター。一つのターニングポイント

**30歳** “即戦力”が大きなウリになると。企業が欲しいのは、すぐにお金を生み出せる人材や、教育の必要ない人材、そしてチームの中で実力を発揮できる人材

**32歳** 即戦力にプラスしてプロジェクトなどのリーダー経験が求められる。スペシャリストでいくのか、マネージャーコースにのるか分かれてくる年齢

**35歳** 職務実績（成果の出る仕事をしたか、社内外の人材リソースをどう動かしたか）とマネージャー経験が求められる。前職でのタイトル・肩書は大きな武器になる

一方、30代になったら、闇雲にではなく、キャリアの方向性を絞っていききたい。まずは、自分の仕事をいったん棚卸しすること。「何の仕事をしているとかが楽しいのか？ 自分は何のために仕事をしているのか？ 生活か、キャリアアップか、何かを達成したいのか。どんなスタンスで働くかを改めて考えたいですね」とキャリア・コンサルタントの赤木美香さんは言う。同時に、キャリアコースも考

### 30代は自分の 立ち位置を確認

「与えられるままではなく、やり方を考えて。自分なりの問題解決の型を作っておきたいですね」と豊田さん。見落としがちだが、失敗や成功体験を繰り返して、問題解決能力をアップさせておくことも大切だ。

「学ぶことが大事なんです」という。そんな経験を積んだ30代は「どこでも自分の仕事を探せる人」「責任感のある人」として、企業でも活躍でき、派遣社員としても企業に評価されるとか。

また20代では、自発的に仕事に取り組み習慣も身につけたい。「与えられるままではなく、やり方を考えて。自分なりの問題解決の型を作っておきたいですね」と豊田さん。見落としがちだが、失敗や成功体験を繰り返して、問題解決能力をアップさせておくことも大切だ。

30代は守りに入る人も多いが、専門家は「30代こそチャレンジを」と口をそろえる。産業カウンセラーの野原容子さんは「管理職の話が来ると躊躇する女性が多いけど、会社に残りたいのなら、挑戦してみて。そのために、管理職の視点で組織を見る習慣をつけて」と言う。パソナの鈴木雅子さんも「例えば38歳のほうが28歳より、生活環境等により仕事の選択肢が狭まるかもしれない。でも、38歳だから…と挑戦しないのは一番危険。年齢よりも、何をどの程度、何年やっただか」が派遣市場でも大きな武器になります」と力説。

「女性に結局、ロールモデルがいなくて悩むのよね」と野原さん。しかし、「ひとりの人を完璧なモデルにする必要はない。いろんな人の良い部分をロールモデルにすればいいんです」とアドバイスをくれた。

### 40歳までに…

- ☐ リーダーやマネージャーなどの役職を通し、経験の質を高める
- ☐ 年齢を気にせず、チャレンジする
- ☐ 過去の経験をストックし、自分なりの成功パターンを複数持つ
- ☐ どんな分野の、どんなことでもいいので何か一つを究める

### 35歳までに…

- ☐ マネージャーかプロデューサーかエキスパートか。自分の立ち位置を考え始める
- ☐ 仕事の棚卸し、自分の強みや専門性を絞り込む
- ☐ 管理職になる想定をし、上司や組織の視点で仕事を考える習慣を付ける
- ☐ メンター・師匠を見つけておく

## "30"代で しておくべき こと

#### マネージャー

権限を持って組織をまとめる人。仕事に全精力を傾ける！というくらいの覚悟が必要

#### プロデューサー

組織横断型プロジェクトを取りまとめ、新しい事業、商品を作り出せる人

#### エキスパート

専門性を持った、その道のプロ。既存の仕事の中でも爆発的に速く処理ができるタイプの人

会社組織を  
図にしてみたら…



### 30代で 見極めたいこと

組織に身を置くなら、30代をめぐりにマネージャーコースかプロデューサーコースかエキスパートコースか。どのコースを今後歩んでいきたいかを考えたい。それは、自分の立ち位置を見極めることにもなる

### 私たちの2大誤解！②

**30代は  
資格がないと  
転職・派遣アピ  
ールにならない！**

30代以降のキャリア形成に「資格」は必須と考える人も多いが…。「資格は100。問われるのは、経験と人間関係を構築できる能力。今まで積んできた職務経験をもとに、まずは今の仕事を深める努力を」(テンプスタッフ和田さん)。

#### 30代読者が

「仕事の専門性を付けたい」  
「資格を取りたい」理由は？

- 今すぐに転職したいわけではないけど、これからは資格がないと転職もしたいときにできないと思うから (34歳・流通・経理)
- 幸せな40代に向けて、今が正念場だと思ってるので、土台を作りたい (34歳・流通・営業)
- 一度正社員という立場を離れると、簡単にもう正社員 (自分がやりたい仕事で) になること

は難しいので (32歳・教育)

- 仕事の専門性は、事務職として若い社員との実力の差をみせつけるために必要。しかし、35歳を過ぎると体力的にも、精神的にも新しいことは吸収しづらい。もっと若いうちに勉強しておけばよかった… (35歳・製造・経理)
- 今の世の中、一つの会社に安定して勤めるとするのは難しいし、かといってつぶしの利きにくい職業なので、他に分野を広げておかないと将来が不安 (34歳・印刷・デザイン)